

平成25年5月31日（金）13:30～15:30

## 第8回 平成23年7月新潟・福島豪雨での只見川等の災害に関する情報連絡会議事要旨

### 1) 災害復旧について

#### 【説明内容】

○福島県より、災害復旧関係資料に基づき説明。

・只見川・伊南川の災害復旧工事については、4月末現在で全14箇所のうち8箇所が完成。今年度をもって事業完了。表記内容は第7回資料と同じである

・叶津川災害関連事業については、前回資料と同様の状態となっている。  
事業未発注工事について事業区間の残工事については順次発注予定となっているが起工決定にしていなかったため具体的な箇所表示はしていない。

・黒谷川の災害復旧助成事業については、前回資料に誤りがあり、全8箇所中7箇所が工事完了、残り1箇所が工事中（南会津群只見町6工区）と報告していたが、今現在、『全8箇所中5箇所が工事完了、残り3箇所が工事中（南会津郡只見町3-1工区、7工区、6工区）』が最新の状態である。

黒谷川の事業は来年度の竣工を目指して現在施工中である。

○国（河川部）より、災害復旧関係資料に基づき説明。

・福島県からの只見川等河川災害復旧受託工事の進捗状況について説明。

事業箇所全42箇所受託しており、22箇所完成。20箇所の内19箇所が工事発注しており施工中。残り1箇所について設計用地等協議を現在進めており、了解がでたのち工事着手予定。平成25年度中に全ての事業箇所の完成を目指している。

○国（道路部）より、災害復旧関係資料に基づき説明。

・権限代行の受諾の担当といううことで、進めており只見町五礼橋工事は昨年9月に完了して引渡している。

そのほかに252号二本木橋に関して権限代行といううことで現在事業中である。

金山町西部橋につきましても現在事業中である。

二本木橋の進行状況は、今月23日に主桁の架設が完了。ジャッキダウンしこれから床版・高欄等、工を進める状況である。

西部橋の進行状況は、下部工が完了しており、これからケーブルクレーン架設（架設の鉄塔）を進めており、現在組み立てが完了。今後、桁を並べるといった状況である。

○質疑応答なし

## 2) 只見川圏域河川整備計画について

### 【説明内容】

○福島県より、資料に基づき説明。

只見川圏域河川整備計画については、平成21年10月に策定されたが、平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨を踏まえ、平成25年度を目途に見直しを進めており現在、河川整備計画の基本となる計画高水流量の設定等について検討を実施している。

現在基本的な内容を整理しているが、いずれある程度整理がついた段階で関係市町村に説明する予定である。

その後、本川の整備内容あるいは計画原案を作成するあたり、関係市町村や関係機関と調整しながら流域協議会を開催し、学識経験者や地元関係者から意見を聞きながら河川整備計画案の作成を考えている。

流域協議会は1回で終了とは考えておらず、数回の開催を予定している。

流域協議会で河川整備計画案が決定したのち、関係自治体と協議、只見川流域に該当する隣接県への協議、最終的には国への認可申請を考えている。

### 【質疑応答】

国：只見川圏域河川整備計画を今年度を作成するにあたり、具体的なスケジュールなど今の段階でわかれば教えてほしい。

福島県：今現在、河川整備計画の基本事項を整理しており、予定は今後検討する。  
今この場では報告できる状況ではない。

## 3) 河川情報システムの充実について

○福島県より、福島県河川流域総合情報システムについて資料に基づき説明。

### 【質疑応答】

只見町：柴倉橋に県のライブカメラを設置してもらったところだが、平成23年7月新潟・福島豪雨で被災を受けた叶津川と只見川の合流点にある八木沢集落と只見川と支流である伊南川の合流点にもライブカメラを設置してほしい。

県：配布資料のライブカメラは津波被害を受けた時のもので、それとは別に事業により昨年、只見町の柴倉橋と金山町の西谷橋にウェブカメラを設置した。  
今後も同じような対応となり、随時追加で設置していきたいと考えている。

只見町：2箇所の設置の時期がいつになるか、およその目処を示してもらいたい。

県：流域全体のバランスをみて、計画的に設置していきたいと考えており、毎年2基ずつの設置を考えているが、まだ全体的な計画がまとまっていないので現段階ではっきり

とした目処を示すことはできない。

只見町：随時設置していくということだが、およその目処を示してもらわないと、県の立場上、流域のバランスというのは分かるが、町民の感情を考えると、その後の安全対策が速やかに行っている様子が目にみえないと不安に思うところであり、もし県の方で設置が難しいのであれば、町が独自で設置する場合の財政的支援とか含めた配慮をお願いしたい。

只見町：河川流域総合情報システムで、柴倉橋と西谷橋にカメラマークが表示されない。浜通りのカメラ画面から入っていくことはできるが、柴倉橋と西谷橋からはカメラが見れない。いずれは統合されて見られるようになるのか。

県：統合したいと考えてはいるが、中継局が必要で、大がかりな予算が必要になる。今は只見川の情報をも早期にみってもらうための手段としてシステムが別系統になっている。ゆくゆくは整備したいが、しばらくは現状で了解してほしい。

#### 4) ダム設置者の検討状況について

①東北電力（株）より、阿賀野川水系ダム群の情報提供について資料に基づき説明。

- ・ダム情報の発信について説明。
- ・関係機関への通知・通報および一般への周知についての説明。
- ・阿賀野川水系ダム群の情報提供についての説明。

○質疑応答なし

②電源開発（株）より、平成23年7月新潟・福島豪雨 只見川における対応について資料に基づき説明。

- ・ダム情報の発信について説明。
- ・滝調整池の堆砂対策についての説明。

#### 【質疑応答】

国：資料6頁で、十島地区の陸上掘削5万 $\text{m}^3$ について、青色表示のすべて仮置場所置くのか、別の場所にもっていくのか。

電源開発（株）：一度に全部処理できないので、一部は蒲生地区へ直送するが、残りは十島地区に仮置して翌年度後蒲生地区へもっていくことになる。

国：資料5頁で、蒲生川掘削量3万 $\text{m}^3$ と塩沢掘削量2万 $\text{m}^3$ の計5万 $\text{m}^3$ が蒲生土捨場の青色表示の箇所に置かれるので、白色表示のところにも十島の5万 $\text{m}^3$ が置かれることになるのか。

電源開発(株)：白色表示のところは昨年保護工設置済。ここへ十島の5万 $\text{m}^3$ をもってくる  
と、合計10万 $\text{m}^3$ となってヤード内で一度にきりもりできない。今年は5  
万 $\text{m}^3 + \alpha$ をもっていけたらと計画している。

国：将来的には、十島の5万 $\text{m}^3$ はどこへもっていくのか。

電源開発(株)：蒲生土捨場の付近で、只見町の地区の方で背後地の田畑が湛水しないよう  
にできないかと要望があったので、浚渫土砂については、これを囲むよう  
な形で土砂をもっていきたい。地区の了解は得ており、平成26～28年  
までかかる予定。

国：資料2頁で、ダム放流量が最大となった時点で連絡するとあるが、具体的にどのよう  
な連絡があるか。また、FAX送信を基本とあるが、FAXが届いたかどうかをその都  
度確認するのは難しいのではないか。

ダムの情報は、それぞれのダムごとの情報が送られるのかまとまった整理されたもの  
が送られるのか。

電源開発(株)：ダム放流量が最大となった時点は分からないので、タイムラグがあって  
最大放流量が何時にあったというような連絡になってしまう。イメージと  
して放流のピークが過ぎたという連絡となる。

以前、ダム情報については電話連絡をしていたが、誤った情報が伝わった  
ことが多々あったのでより確実な方法としてFAX送信をしている。それ  
についての着信確認を電話にてしている。

ダム情報の発信については、それぞれのダムが放流開始する時で、下流の  
ダムで放流が開始されればその後上流のダム情報が順を追って送られる。

国：FAX送信を基本とするところで、着信確認を明記していない理由はあるか。

電源開発(株)：操作規程以外の通知・通報先についてはFAXを送りっぱなしにしている。  
要望があり参考までに情報を提供しているところである。

## 5) その他

①阿賀川河川事務所より平成25年度ダム管理演習についての説明。

○質疑応答なし

②東日本旅客鉄道(株)より只見線復旧関係について資料に基づき説明。

・只見線の復旧試算・復旧工期の詳細についての説明。

○質疑応答なし

国：次回の情報連絡会については、復旧あるいは検討が進んだ段階で調整を進めたいと考えている。